



DIRECTED BY **DANNY BOYLE** OF 'TRAINSPOTTING' "トレインスポッティング" ダニー・ボイル衝撃のデビュー作。

悪夢は新しい〈ルームメイト〉とともに訪れた...

Shallow grave

シャロウ・グレイブ

固く尖った、ローラー・コースター・スリラー

Channel Four Films in association with the Glasgow Film Fund
present a Figment Film Kerry Fox Christopher Eccleston Ewan McGregor 'Shallow Grave'
production designer Kave Quinn music Simon Boswell editor Masahiro Hirakubo director of photography Brian Tufano bsc
writer John Hodge producer Andrew Macdonald director Danny Boyle

ORIGINAL TITLE MUSIC BY LEFTFIELD

DISTRIBUTED BY COLUMBIA TRISTAR FILM DISTRIBUTORS INTERNATIONAL, INC.



Distributed by Cable Hogue Co., Ltd.
Presented by Sony Pictures Entertainment (Japan) Inc.

Shallow grave

シャロウ・グレイヴ

《スタッフ》

監督——ダニー・ボイル
製作——アンドリュー・マクドナルド
脚本——ジョン・ホッジ
撮影——ブライアン・トゥファノ
製作総指揮——アラン・スコット
編集——マサヒロ・ヒラクボ
音楽——サイモン・ボスウェル

《キャスト》

ジュリエット——ケリー・フォックス
デビッド——クリストファー・エクルストン
アレックス——ユアン・マクレガー
マッコール刑事——ケン・スコット
ヒューゴ——キース・アレン
キャメロン——コリン・マクレディア

1995年/イギリス映画/35mm・カラー/92分

《解説》

「バルブ・フィクション」のクエンティン・タランティーノや「デスペラード」のロバート・ロドリゲスなど、90年代の映画界は個性的な若手監督の出現で活気づいたが、今度は驚異の新人監督ダニー・ボイルが英国から出現した。今年の冬にロンドンで記録的なヒットとなり、カンヌ映画祭やアメリカでも評判となった監督二作目の「トレインスポッティング」でボイルは世界中の熱い注目を集め、もう、タランティーノは古い、という声さえさざやかれている。「シャロウ・グレイヴ」は、



そんな彼の記念すべきデビュー作である。このスタイリッシュなスリラーは昨年、英国で公開されて大ヒットを記録し、「ボイル・フィーバー」を生む最初のきっかけとなった近年最高のブリティッシュ・スリラーの登場である。

映画の主人公は三人の若者である。挑発的なジャーナリストのアレックス、内向的でまじめな会計士のデビッド、意志的で自立した医師のジュリエット。同じアパートで暮らす仲良しの三人は空き部屋に入れるルームメイトを募集する。ジュリエットの推薦で、どこかミステリアスなヒューゴが入ることになるが、彼は麻

「まれに見るシュールで グラフィックな映像感覚」

「近年最高のブリティッシュスリラー。恐ろしいほど現実的なキャラクターたちと容赦ないスピードで観るものを、画面に釘付けてしまう」エンバヤイ誌

薬の過剰摂取で突然死んでしまう。そして、彼の部屋には大金が入った大きなスーツケースが残されていた。ジレンマに悩みながらもその大金を自分たちのものにしようとする三人。ヒューゴの死体を処分するために、森の中に浅い墓(シャロウ・グレイヴ)を掘った。しかし、思いがけないアクシデントが次々に起こり始め、想像を絶するエンディングに向かって、物語は突き進んでいく…。

現代を軽やかに生きようとする三人の若者たち。たまたま手にした大金がもて、彼らの友情は裏切りへと変わっていく。一瞬の衝動につき動かされた人間たちのグロテスクな殺人ミステリーをダニー・ボイル監督は独特のブラック・ユーモアとグラフィックなカメラワークで鮮やかに描いた。まさに90年代ならではのハイセンスでスタイリッシュな個性派スリラーの登場だ。



貪欲なアレックスを演じるのは「トレインスポッティング」でも主人公を演じて英国映画界の新しい星と期待されるユアン・マクレガー。ピーター・グリーナウェイ監督の「ピロー・ブック」や若手の人気女優グウィネス・パルトロウと共演

する「エマ」など話題作が目白押しで大型新人としてその動向が注目されている。屈折したデビッドに扮しているのは、アレックス・コックス監督の「死とコンパス」(97年公開)が待期中の若手の個性派クリストファー・エクルストン。ふたりの男性の間で揺れる聡明なジュリエット役に「エンジェル・アット・マイ・テーブル」の好演が高く評価されたオーストラリア出身の女優ケリー・フォックス。ヒューゴ役に「トレインスポッティング」にも出演したキース・アレン。

製作スタッフには、今や「ボイラー家」となりつつあるメンバーが名前を連ねている。製作はアンドリュー・マクドナルド。脚本はジョン・ホッジ。撮影はブライアン・トゥファノ。編集にマサヒロ・ヒラクボ。彼らは全員「トレインスポッティング」にも参加している。音楽はサイモン・ボスウェルが担当。アンディ・ウィリアムズやザ・プラターズの懐かしい曲に加え、レフトフィールドのナンバーも挿入されている。



●ダニー・ボイル(監督)

「シャロウ・グレイヴ」と次作「トレインスポッティング」の二本が英国で大ヒットし、タランティーノを越える90年代の新しい才人とみなされている。

マンチェスター出身のボイルの出発点は演劇だった。80年代はジョイント・ストック・シアター、ロイヤル・コート・シアター、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーといった英国の劇団で美術監督や監督として活躍し、エドワード・ボンド作の舞台「セブド」では「タイム・アウト賞」を獲得している。

また、80年代にはBBCの北アイルランド局でプロデューサーとして数多くのテレビドラマを製作した。BBCのために作った「ミスター・ロウズ・バージンス」のシリーズが大好評を博し、この作品ではジュリエット役のケリー・フォックスの他、マサヒロ・ヒラクボ(編集)やブライアン・トゥファノ(撮影)といった後に「ボイラー家」となるスタッフと出会った。こうしたスタッフの力に支えられて30代後半に「シャロウ・グレイヴ」で監督デビューを果たした。

この作品は英国では大ヒットを記録したが、ジャンキーの若者たちを描いた監督二作目「トレインスポッティング」は本国はもとより、96年のカンヌ映画祭やアメリカでも大評判を呼び、今や世界中の映画ファンが注目する若手監督となった。

10月中旬よりロードショー

特別鑑賞券 ¥1,500 — (当日¥1,800・学生¥1,500の他)

●都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、劇場窓口にてお求め下さい。

土・日・祝のみ 11:00 連日 13:00 15:00 17:00 19:00

Ciné la sept
シネ・ラ・セプト

JR有楽町駅・中央口すぐ TEL.3212-3761

